

6 学年題材指導計画

曲のまとまりを生かして歌い方を工夫しよう（4時間扱い）

1. 題材のねらい

旋律のまとまりを感じ取ったり，旋律の繰り返しや変化に気づいたりして，表現を工夫できるようにする

長調と短調の響きの違いを感じ取って，聴いたり表現に生かしたりすることができるようにする。

2. 教材について

(1) 夢をのせて（中山知子作詞，市川都志春作曲）

《学習指導要領5・6学年の内容との関連》A(1)ア，A(2)ア，A(3)ア

A(AA')B(BA')の二部形式による構成の楽曲である。二短調の旋律で始まり，3フレーズ目で転調し長調になり，4フレーズ目で1，2段目の旋律が繰り返されている。「同じふし」「似ているふし」や曲想の変化をつかみやすく，強弱，速度の変化，斉唱，合唱の歌唱形態などにも気付かせながら表現を工夫させたい。また，クレシェンド，デクレシェンドなどの表現記号についても取り上げ，子供たちの自由でおおらかな発想で表現を工夫する活動に生かしたい。

(2) ハンガリー舞曲第5番（ブラームス作曲） *オーケストラ鑑賞会演奏曲

《学習指導要領5・6学年の内容との関連》B(1)イ

いくつかのテレビのCMでも取り上げられた子供たちにも親しみやすい鑑賞曲である。短調で構成される部分と長調で構成される部分が対照的で，それぞれの旋律の特徴をとらえやすい。それらがどのように繰り返されたり変化したりしているか，身体表現やノートへの自由記述の活動などを取り入れながら確かめさせたい。

(3) 交響曲第9番 ホ短調 作品95 「新世界から」より

第4楽章（アントニン・ドヴォルザーク作曲） *オーケストラ鑑賞会演奏曲

《学習指導要領との関連》B(1)イ

この楽曲は，“新大陸”アメリカに古くから伝わる素朴なアメリカ・インディアン民謡や黒人霊歌から受けた新鮮で強烈な感動をもとに作曲された曲である。この第4楽章は，第1楽章の第1主題，第2楽章の主要主題，第3楽章のスケルツォ主題といった全曲の主な楽想が登場している。身近で聴くオーケストラの演奏により，いろいろな楽器の組み合わせによる音色や響きの変化を聴き比べる活動をさせたい。

(3) 風に向かい 光に向かい（片岡 輝作詞，岩河 三郎作曲）

《学習指導要領5・6学年の内容との関連》A(1)ア，A(2)ア

明日を見つめ，希望に胸膨らませる思いを歌った曲である。この曲の前半アは静かで落ち着いた旋律，後半イは力強く前向きな旋律というように，旋律が対照的であるだけでなく，歌詞の内容も対照的に構成されている。そのため，2つの課題を用意し取り組ませたい。1つは，速さを意識させるために，速度記号やメトロノームを活用し，曲の速さによって曲の気分が異なってくることに気付かせ，快いと感じる速さになるよう工夫し合うこと。2つ目は歌詞や旋律のまとまりごとに強弱を工夫し合う活動にも取り組ませ，児童に強弱記号を自由に書き込ませながら，歌詞の内容にふ

さわしい表現をどんな演奏形態で活動するか工夫させたい。

(4) 勇気一つを友にして(片岡 輝作詞, 越部 信義作曲)

《学習指導要領5・6学年の内容との関連》A(2)ア, B(1)イ

旋律のまとまりをとらえやすい曲なので, 曲想の変化を感じ取り, 表情を工夫して表現するのに好適な教材である。風に向かい光に向かいと同様, 旋律のまとまりごとにどんな強弱を付けて歌ったらいかを課題として取り組ませていくが, 加えて表現の工夫をさせたい。そこで児童に斉唱, 二部合唱, リコーダーなどで副次的な旋律を加えての演奏と, 多彩な表現を工夫しながら取り組ませたい。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	長調や短調, 旋律の繰り返しや変化に関心をもち, 意欲的に表現活動や鑑賞活動に取り組んでいる。	旋律の繰り返しや変化などの旋律のまとまりに気付くとともに, 楽曲の構成を理解し表現の仕方を工夫している。	歌詞の内容や楽曲の構成を理解し, 様々な表現形態を用いて歌ったり演奏したりしている。	旋律のまとまりや変化など, 楽曲の構成と曲想とのかかわりに気付いて聴いている。
学習活動 における 具体的 評価 規準	旋律の変化やまとまりに関心をもち, 進んで聴いたり, 歌ったりしようとしている。 【Aと判断するキーワード】 <input type="checkbox"/> 旋律の変化やまとまりの明確な気付き。 <input type="checkbox"/> 曲の気分を感じて進んで歌おうとする姿勢。 歌詞の内容や楽曲の構成に関心をもち進んで歌おうとしている。 【Aと判断するキーワード】 <input type="checkbox"/> 歌詞の内容から曲想について自分の考えを説明。楽曲の構成の理解。 <input type="checkbox"/> 曲想を生かすような視	楽曲の構成を理解し, より豊かな表現になるよう歌い方を工夫している。 【Aと判断するキーワード】 <input type="checkbox"/> 範唱から受けるイメージのとらえと説明。 <input type="checkbox"/> 楽曲を特徴付けている要素に気付き, 曲想に合った表現の工夫。 旋律の気分や曲の山を感じ取るとともに, 歌詞の内容を生かして速度や強弱の変化を工夫している。 【Aと判断するキーワード】 <input type="checkbox"/> 曲の山への気付きと説明。	呼吸や発声の仕方を工夫して, 自然で無理のない声で歌っている。 【Aと判断するキーワード】 <input type="checkbox"/> 曲想を感じ, 伸びやかで響きのある歌声。 歌詞の内容にふさわしい速度や強弱の変化に気を付けて, 表情豊かに歌っている。 【Aと判断するキーワード】 <input type="checkbox"/> 速さや強弱の変化に気を付け, 曲想に合った表現。 リズムや旋律の繰り返しや変化を生かして歌っている。	旋律の繰り返しや変化に気付き, 楽曲の構成と曲想のかかわりのよさを感じ取って聴く。 【Aと判断するキーワード】 <input type="checkbox"/> 楽曲を特徴付けている要素の把握。 <input type="checkbox"/> 各要素が曲想にどう影響しているのか発表。 曲想にあったりリズム, 強弱や速度などの変化に気付いて, 友達の歌唱のよさや課題を発見しながら聴くことができる。 【Aと判断するキーワード】 <input type="checkbox"/> 友達の歌唱のよいとこ

	<p>点の明確化。</p>	<p>□楽曲の構成を考えた速度や強弱の工夫。 旋律の繰り返しや曲想の変化に気を付けて、範唱や友達の歌唱表現を聴き、そのよさを感じ取っている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□旋律の特徴や変化のとらえ。 □範唱や友達の歌唱表現のよさに気付く明確な視点。</p>	<p>A(2)ア</p> <p>【Aと判断するキーワード】</p> <p>□リズムや旋律のまとまりの明確なとらえ。 □曲想豊かな表現歌唱。</p>	<p>るや工夫しているところの発見。</p> <p>□自分の曲想に対する考えを述べながら、友達のよさに気付くなど理由付けた発言。</p>
--	---------------	--	---	--

4. 指導と評価の計画(5時間扱い) : 取り扱い項目 取り扱い重点項目

時	主な学習内容	題材の 評価 規準	指導要領 との 関連	内容のまとまり との関連				評価方法等
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	<p>夢をのせて 範唱CDを聴いて、曲全体の感じを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 旋律の特徴(同じ旋律が繰り返されていること)に気を付けながら聴く。 短調から長調への変化を感じ取る。 歌詞の内容を知り、気分を感じ取って伸び伸びと歌う。 歌詞や旋律の中で好きなところなどを発表しあう。 歌詞や旋律の流れを生かした歌い方を工夫する。 	ア-	A(1)ア					学習カード
		イ-	A(2)ア					歌唱聴取
2	<p>曲想や旋律の特徴を生かして歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 伴奏の響きを感じ取りながら歌う。 3段目の歌い方を工夫する。 二部形式についてその構成を知る。 曲想を感じ取って、伸びやかに合唱する。 	ア-	A(2)ア					学習カード
		ウ-	A(3)ア					歌唱聴取

2	<p>ハンガリー舞曲第5番 交響曲第9番新世界より第4楽章 オーケストラの生演奏を聴き，曲想を感じ取って聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全曲を通して聴き，曲の感じや特徴に気付く。 ・速度，強弱の変化などによる旋律のまとまりをつかむ。 リズムや旋律の繰り返し，変化などに気をつけて聴く。 ・短調と長調の響きの違いをまとまりごとに感じ取る。 	エ -	B(1)イ					学習カード
3	<p>風に向かい 光に向かい 旋律の変化や繰り返し，まとまりを生かして演奏の仕方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱 CD を聴いてアとイそれぞれの旋律の感じを話し合う。 ・リズムや旋律の繰り返し，変化などに気付いて歌う。 曲にふさわしい速度や強弱を考えて歌う。 ・曲にふさわしい速度を話し合い，メトロノームを使って曲の感じにあった速さを工夫する。 ・歌詞の内容を生かせるよう，強弱記号を楽譜につけ，曲想がより豊かに表現できるように工夫して歌う。 	ア -	A(1)ア					発表
		イ -	A(2)ア					歌唱聴取
		イ -	A(2)ア					行動観察 学習カード
		ウ -	A(2)ア					歌唱聴取
4	<p>《勇気一つを友にして》 曲全体の感じをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短調，長調の変化に注意して聴く。 ・曲の山を考えながら聴く。 旋律の気分や曲の山を感じて演奏の仕方を工夫する。 ・旋律ごとの気分の違いを生かした歌い方をしている。 ・互いに聴き合って感想を発表する。 	イ -	A(2)ア					学習カード
		ウ -	A(2)ア					発表
		エ -	B(1)イ					学習カード